



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月5日

上場会社名 荒川化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4968 URL <https://www.arakawachem.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高木 信之
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役（氏名） 延廣 徹（TEL）06-6209-8500
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	39,327	13.4	313	—	313	—	1,634	—
2024年3月期中間期	34,672	△16.9	△1,827	—	△1,451	—	△753	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,181百万円（321.9%） 2024年3月期中間期 516百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 82.41	円 銭 —
2024年3月期中間期	△37.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期中間期	百万円 122,242	百万円 58,623	% 47.9
2024年3月期	125,418	56,918	44.8

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 58,572百万円 2024年3月期 56,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 48.00
2025年3月期	—	24.00			
2025年3月期（予想）			—	24.00	48.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	13.5	1,500	—	1,200	—	2,100	—	105.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	20,652,400株	2024年3月期	20,652,400株
2025年3月期中間期	813,611株	2024年3月期	813,611株
2025年3月期中間期	19,838,789株	2024年3月期中間期	19,838,909株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の国内経済は、一部に足跡が残るものの、雇用・所得環境が徐々に改善し、緩やかに回復しています。世界経済は、米国において利下げが開始されたものの、高い金利水準が継続しており、中国における不動産市場の停滞に伴う影響や地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2021年度よりスタートしました第5次中期5ヵ年経営実行計画の方針(KIZUNA経営の推進とKIZUNA指標の達成)に沿った重点施策を進め、コア技術・素材を中核とした事業ポートフォリオ改革や新事業の創出などによる持続可能な地球環境と社会を実現するための取り組みに注力しております。特に、事業ポートフォリオ改革においては、既存事業の収益力の回復にも努めており、ロジン誘導体・サイズ剤事業等における製造拠点の統廃合を進めております。

業績面では、スマートフォンの出荷台数やデータセンター投資が回復傾向にあるなど、電子部品の需要環境は回復基調で推移しており、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂やハードディスク用精密研磨剤などが堅調に推移しました。また、海外において板紙向け紙力増強剤や粘着・接着剤用樹脂の販売が堅調に推移したことが業績に寄与いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は393億27百万円(前年同期比13.4%増)、営業利益は3億13百万円(前年同期は営業損失18億27百万円)、経常利益は3億13百万円(前年同期は経常損失14億51百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益は固定資産売却益9億84百万円の計上などにより16億34百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失7億53百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<機能性コーティング事業>

電機・精密機器関連業界は、電子部品などの需要が徐々に回復基調で推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、今後の需要拡大に向けて人的・設備的な経営資源を積極的に投入している機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は、スマートフォンやディスプレイ関連分野での需要回復が進みました。

その結果、売上高は82億11百万円(前年同期比18.4%増)、セグメント利益は5億99百万円(同448.8%増)となりました。

<製紙・環境事業>

製紙業界は、中国の段ボール原紙工場の稼働が低い状況にあり、また国内においても市況の低迷が続いており、厳しい需要環境となりました。このような環境のもと、当事業におきましては、アジアでの需要の創出に注力している板紙向け紙力増強剤が堅調に推移したことなどにより、大幅に増益となりました。

その結果、売上高は109億93百万円(前年同期比11.2%増)、セグメント利益は10億11百万円(同206.2%増)となりました。

<粘接着・バイオマス事業>

粘着・接着剤業界は、国内の自動車関連分野では一部で生産停止の影響が懸念されますが、テープやシート類用途などの需要は堅調に推移しています。このような環境のもと、当事業におきましては、千葉アルコン製造株式会社は、稼働の再開後も断続的な生産を余儀なくされており、水素化石油樹脂の収益を押し下げました。一方、ロジン系の粘着・接着剤用樹脂はアジア地域を中心に販売が堅調に推移しました。

その結果、売上高は132億30百万円(前年同期比6.8%増)、セグメント損失は12億92百万円(前年同期はセグメント損失18億2百万円)となりました。

<ファイン・エレクトロニクス事業>

電子工業業界は、電子部品などの需要の回復や生成AIの需要増加に伴うデータセンターへの積極的投資が進んでおります。このような環境のもと、当事業におきましては、将来に向けて生産能力増強を進めている半導体関連先端材料のファインケミカル製品やハードディスク用精密研磨剤などが堅調に推移しました。

その結果、売上高は68億43百万円(前年同期比26.3%増)、セグメント利益は3億67百万円(前年同期はセグメント損失3億19百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ31億76百万円減少し、1,222億42百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が4億98百万円、棚卸資産が12億18百万円、有形固定資産が7億23百万円減少したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が13億74百万円、短期借入金が11億6百万円、長期借入金が14億24百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ48億81百万円減少し、636億18百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ17億5百万円増加し、586億23百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ88百万円増加し、92億53百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、33億98百万円の増加となりました。これは税金等調整前中間純利益(15億66百万円)や減価償却費(27億9百万円)の計上などにより資金が増加した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億7百万円の減少となりました。これは、有形固定資産の売却(7億69百万円)や投資有価証券の売却(3億55百万円)による収入があった一方、固定資産の取得による支出(18億6百万円)が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、32億64百万円の減少となりました。これは、借入金の減少(27億79百万円)が主なものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月2日に公表した2025年3月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年11月5日)発表の「2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正ならびに個別決算における特別損失計上に関するお知らせ」をご参照ください。

(参考)

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	82,600	2,200	1,900	2,100	105.85
今回修正予想(B)	82,000	1,500	1,200	2,100	105.85
増減額(B-A)	△600	△700	△700	0	—
増減率(%)	△0.7	△31.8	△36.8	0.0	—
(ご参考)前期通期実績 (2024年3月期)	72,222	△2,617	△2,412	△1,042	△52.56

千葉アルコン製造株式会社の減価償却費(期初から変更なし)

単位:百万円

2022年度	2023年度	2024年度(予想)	2025年度(予想)
1,043	2,315	約1,900	約1,600

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,578	11,432
受取手形及び売掛金	25,683	25,184
電子記録債権	2,504	2,111
商品及び製品	12,423	11,636
仕掛品	1,603	1,312
原材料及び貯蔵品	9,267	9,127
その他	1,215	1,220
貸倒引当金	△116	△125
流動資産合計	64,159	61,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,723	17,551
機械装置及び運搬具(純額)	14,126	13,557
土地	4,996	5,001
建設仮勘定	1,969	2,049
その他(純額)	1,136	1,068
有形固定資産合計	39,952	39,228
無形固定資産	1,529	1,488
投資その他の資産		
投資有価証券	11,200	11,012
退職給付に係る資産	6,087	6,258
繰延税金資産	286	325
その他	354	384
貸倒引当金	△79	△87
投資その他の資産合計	17,850	17,892
固定資産合計	59,332	58,609
繰延資産		
開業費	1,927	1,731
繰延資産合計	1,927	1,731
資産合計	125,418	122,242

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,478	8,103
電子記録債務	1,403	1,132
短期借入金	18,512	17,405
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	434	644
未払消費税等	100	211
賞与引当金	1,190	1,181
役員賞与引当金	-	10
修繕引当金	732	469
事業整理損失引当金	110	78
資産除去債務	-	174
設備関係支払手形	297	151
その他	6,146	5,496
流動負債合計	43,406	40,060
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	13,875	12,450
繰延税金負債	3,847	3,925
退職給付に係る負債	299	299
資産除去債務	1,919	1,756
その他	151	125
固定負債合計	25,093	23,557
負債合計	68,500	63,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	38,927	40,086
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	44,623	45,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,173	5,072
為替換算調整勘定	3,530	5,070
退職給付に係る調整累計額	2,807	2,648
その他の包括利益累計額合計	11,511	12,790
非支配株主持分	783	51
純資産合計	56,918	58,623
負債純資産合計	125,418	122,242

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	34,672	39,327
売上原価	29,527	31,568
売上総利益	5,144	7,759
販売費及び一般管理費	6,972	7,445
営業利益又は営業損失(△)	△1,827	313
営業外収益		
受取利息	46	55
受取配当金	115	114
不動産賃貸料	21	27
為替差益	249	137
その他	153	91
営業外収益合計	586	427
営業外費用		
支払利息	145	189
開業費償却	5	198
その他	59	39
営業外費用合計	210	427
経常利益又は経常損失(△)	△1,451	313
特別利益		
固定資産売却益	4	984
投資有価証券売却益	49	314
特別利益合計	54	1,299
特別損失		
固定資産除売却損	121	45
特別損失合計	121	45
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△1,519	1,566
法人税、住民税及び事業税	374	673
法人税等調整額	△243	156
法人税等合計	131	830
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,650	736
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△897	△898
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△753	1,634

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,650	736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,265	△101
為替換算調整勘定	1,014	1,706
退職給付に係る調整額	△112	△160
その他の包括利益合計	2,167	1,444
中間包括利益	516	2,181
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,253	2,914
非支配株主に係る中間包括利益	△736	△732

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△1,519	1,566
減価償却費	2,779	2,709
開業費償却額	5	198
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	△25
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	△0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△133	△167
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△340	△40
固定資産除売却損益(△は益)	116	△938
投資有価証券売却損益(△は益)	△49	△314
受取利息及び受取配当金	△161	△170
支払利息	145	189
売上債権の増減額(△は増加)	△726	1,615
棚卸資産の増減額(△は増加)	510	1,715
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,569	△1,884
未払消費税等の増減額(△は減少)	330	307
その他	△658	△939
小計	△1,255	3,833
利息及び配当金の受取額	160	176
利息の支払額	△126	△177
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△297	△434
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,518	3,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	38	393
有形固定資産の取得による支出	△3,295	△1,806
有形固定資産の売却による収入	5	769
投資有価証券の取得による支出	△19	△19
投資有価証券の売却による収入	51	355
無形固定資産の取得による支出	△29	△58
繰延資産の取得による支出	△28	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	0	△8
その他	△1	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,277	△407

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,499	△1,126
長期借入れによる収入	391	-
長期借入金の返済による支出	△695	△1,652
配当金の支払額	△476	△476
その他	△41	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,677	△3,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	318	361
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	200	88
現金及び現金同等物の期首残高	9,286	9,164
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,487	9,253

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,937	9,883	12,393	5,419	34,633	38	34,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	16	16
計	6,937	9,883	12,393	5,419	34,633	55	34,688
セグメント利益又は損失(△)	109	330	△1,802	△319	△1,682	16	△1,666

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,682
「その他」の区分の利益	16
全社費用の配賦差額(注)1	227
コーポレート研究開発費用(注)2	△193
営業外損益(注)3	△195
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△1,827

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,211	10,993	13,230	6,843	39,280	47	39,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	14	14
計	8,211	10,993	13,230	6,843	39,280	62	39,342
セグメント利益又は損失(△)	599	1,011	△1,292	367	685	28	714

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	685
「その他」の区分の利益	28
全社費用の配賦差額(注) 1	△4
コーポレート研究開発費用(注) 2	△188
営業外損益(注) 3	△207
中間連結損益計算書の営業利益	313

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	5,551	5,803	5,248	3,545	20,149	38	20,187
中国	880	1,635	3,056	945	6,518	—	6,518
アジア(中国除く)	464	2,443	1,999	797	5,706	—	5,706
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	40	—	2,088	131	2,260	—	2,260
顧客との契約から生じる収益	6,937	9,883	12,393	5,419	34,633	38	34,672
外部顧客への売上高	6,937	9,883	12,393	5,419	34,633	38	34,672

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	6,623	6,012	5,449	4,341	22,426	47	22,474
中国	983	1,972	3,751	1,114	7,820	—	7,820
アジア(中国除く)	551	2,998	2,109	1,289	6,948	—	6,948
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	53	11	1,921	98	2,084	—	2,084
顧客との契約から生じる収益	8,211	10,993	13,230	6,843	39,280	47	39,327
外部顧客への売上高	8,211	10,993	13,230	6,843	39,280	47	39,327

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。